

公益財団法人 上原記念生命科学財団

**2025年度上原記念生命科学財団
上原賞受賞者及び各種助成金受領者決定のお知らせ**

公益財団法人上原記念生命科学財団（東京都豊島区、理事長：上原明）は、12月12日（金）に開催した理事会において、2025年度上原賞・各種助成金贈呈対象者を決定しましたのでお知らせいたします。

今年度の上原賞は2名、各種助成件数は335件、助成金総額（上原賞副賞を含む）は13億985万円となりました。

■上原賞 2名 6,000万円 (副賞1件 3,000万円) ※掲載は五十音順

○竹内 理氏 京都大学 大学院医学研究科 医化学分野 教授

対象となった研究業績

「mRNA分解による新規免疫制御機構の発見とその制御法の開発」

○中山 敬一氏 東京科学大学 総合研究院 高等研究府 特別栄誉教授

対象となった研究業績

「哺乳類における細胞周期制御機構の解明」

■各種助成金（上原賞以外） 335件 12億4,985万円

○特定研究助成金	20件	7,000万円
○研究助成金（1件500万円）	80件	4億円
○研究推進特別奨励金（1件400万円）	10件	4,000万円
○研究奨励金（1件200万円）	100件	2億円
○海外留学助成金	60件	3億1,650万円
○若手海外留学支援金	30件	1億6,960万円
○その他		
・国際シンポジウム開催助成金	25件	2,000万円
・来日研究生助成金	10件	3,375万円

公益財団法人上原記念生命科学財団は、1985年の設立以来、今年度41年目となります。

2025年度までの生命科学に関する諸分野の研究に対する助成（上原賞含む）は約12,200件、約398億円になります。

上原賞受賞者

(五十音順)



受賞者氏名： 竹内 理（タケウチ オサム）博士（医学）

所属機関および役職： 京都大学 大学院医学研究科 医化学分野 教授

略歴 1995年3月 大阪大学 医学部 卒業

1995年6月 大阪大学 医学部 第三内科 研修医

1996年6月 大阪府立急性期・総合医療センター 非常勤委託医

1997年4月 大阪大学 大学院医学系研究科 入学

2000年1月 日本学術振興会 特別研究員

2001年3月 大阪大学 大学院医学系研究科 修了

2002年4月 ハーバード大学 ダナファーバー癌研究所 研究員、

ヒューマンフロンティアサイエンスプログラム 長期フェロー

2004年4月 大阪大学 微生物病研究所 自然免疫学分野 助教

2007年4月 大阪大学 微生物病研究所 自然免疫学分野 准教授

2012年4月 京都大学 ウィルス研究所 感染防御研究分野 教授

2018年10月 京都大学 大学院医学研究科 医化学分野 教授

受賞対象となった研究業績

「mRNA 分解による新規免疫制御機構の発見とその制御法の開発」

mRNA 分解による免疫制御機構を世界に先駆けて解明し、RNA 制御を基盤とする新たな免疫学の潮流を創出した。炎症性サイトカイン mRNA を分解する分子 Regnase-1 を発見し、Roquin との時空間的制御原理を提示することで、従来の転写因子中心の枠組みを超えた免疫調節の新概念を確立した。さらに、Regnase-1 の自己制御構造を標的とするアンチセンス核酸医薬を開発し、炎症性疾患モデルでの治療効果を実証した。RNA 構造を標的とする新規モダリティの提唱は、免疫疾患治療や mRNA 医薬の革新に直結するものである。また、ウィルス RNA を分解する N4BP1 の発見や、mRNA のコドン使用偏りによる分解制御の解明など、RNA 制御の新原理を次々と提示し、免疫学・分子生物学の両分野に革新をもたらしている。これらの成果は、核酸医薬、ワクチン開発、タンパク質製造技術などへの応用も期待される独創的な業績である。

上原賞受賞者

(五十音順)



受賞者氏名： 中山 敬一（ナカヤマ ケイイチ） 医学博士

所属機関および役職： 東京科学大学 総合研究院 高等研究府 特別栄誉教授

略歴 1986年3月 東京医科歯科大学 医学部 医学科 卒業

1990年3月 順天堂大学 大学院医学研究科 修了

1990年4月 理化学研究所 フロンティア研究員

1990年12月 ワシントン大学 医学部 博士研究員

1995年7月 日本ロシュ研究所 主幹研究員

1996年10月 九州大学 生体防御医学研究所 教授

2023年4月 東京医科歯科大学 高等研究院 特別栄誉教授

2024年10月 東京科学大学 総合研究院 高等研究府 特別栄誉教授

受賞対象となった研究業績

「哺乳類における細胞周期制御機構の解明」

哺乳類における細胞周期制御機構を解明し、身体サイズが細胞周期によって決定されること、さらにその異常が発がんの直接原因となることを世界で初めて実証した。特に、CDK阻害因子 p27 欠損マウスによる巨大化と自然発がんの発見は、細胞周期と腫瘍形成の因果関係を示す画期的成果である。さらに、p27 の分解因子 Skp2 やがん抑制因子 Fbxw7 を同定し、がん幹細胞の静止期維持と治療抵抗性の分子基盤を明らかにした。Fbxw7 を標的とした「静止期追い出し療法」は、がん根治への新たな戦略として注目されている。また、クロマチンリモデリング因子 CHD8 の機能不全が自閉症を引き起こすことを実証し、神経発達障害の分子病態解明にも貢献。さらに、全タンパク質の絶対定量を可能にする iMPAQ'T 技術を開発し、がん代謝の弱点を明らかにするなど、生命科学と医療応用の両面で卓越した研究業績である。

<参考資料> 【今までの上原賞受賞者一覧】(敬称略、所属・役職は受賞時)

年度	受賞者	所属・役職
2024	神取 秀樹	名古屋工業大学大学院工学研究科特別教授
	柚崎 通介	慶應義塾大学医学部生理学教授
2023	岩坪 威	東京大学大学院医学系研究科教授
	西川 博嘉	国立がん研究センター研究所腫瘍免疫分野長
2022	大野 博司	理化学研究所生命医科学研究センター副センター長
	胡桃坂 仁志	東京大学定量生命科学研究所教授
2021	浦野 泰照	東京大学大学院薬学系研究科／大学院医学系研究科教授
	岡野 栄之	慶應義塾大学医学部教授
2020	影山 龍一郎	京都大学ウイルス・再生医科学研究所教授
	吉村 昭彦	慶應義塾大学医学部教授
2019	岩井 一宏	京都大学大学院医学研究科教授
	斎藤 通紀	京都大学高等研究院教授
2018	佐々木 裕之	九州大学生体防御医学研究所主幹教授
	高柳 広	東京大学大学院医学系研究科教授
2017	松本 邦弘	名古屋大学大学院理学研究科名誉教授
	宮脇 敦史	理化学研究所脳科学総合研究センター副センター長
2016	一條 秀憲	東京大学大学院薬学系研究科教授
	小川 誠司	京都大学大学院医学研究科教授(共同受賞)
	宮野 悟	東京大学医科学研究所教授(共同受賞)
2015	豊島 近	東京大学分子細胞生物学研究所教授
	水島 昇	東京大学大学院医学系研究科教授(共同受賞)
	吉森 保	大阪大学大学院生命機能研究科・医学系研究科 大阪大学特別教授(共同受賞)
2014	狩野 方伸	東京大学大学院医学系研究科教授
2013	笛井 芳樹	理化学研究所発生・再生科学総合研究センター副センター長
	濡木 理	東京大学大学院理学系研究科教授
2012	竹縄 忠臣	神戸大学大学院医学研究科特命教授・質量分析総合センター長
	渡邊 嘉典	東京大学分子細胞生物学研究所教授
2011	森 和俊	京都大学大学院理学研究科教授
	山本 雅之	東北大学大学院医学系研究科長・教授
2010	河西 春郎	東京大学大学院医学系研究科教授
	間野 博行	自治医科大学教授・東京大学大学院医学系研究科特任教授
2009	杉山 雄一	東京大学大学院薬学系研究科長・教授
	西田 栄介	京都大学大学院生命科学研究科教授
2008	飯野 正光	東京大学大学院医学系研究科教授
	山中 伸弥	京都大学物質一細胞統合システム拠点 iPS 細胞研究センター長
2007	門脇 孝	東京大学大学院医学系研究科教授
	坂口 志文	京都大学再生医科学研究所長
2006	審良 静男	大阪大学微生物病研究所教授
	寒川 賢治	国立循環器病センター研究所副所長
2005	鍋島 陽一	京都大学大学院医学研究科教授
	水野 美邦	順天堂大学医学部教授
2004	清水 孝雄	東京大学大学院医学系研究科教授
	田中 啓二	東京都医学研究機構東京都臨床医学総合研究所副所長
2003	谷口 克	千葉大学大学院医学研究院教授
	長野 哲雄	東京大学大学院薬学系研究科教授
2002	月田 承一郎	京都大学大学院医学研究科教授
2001	成宮 周	京都大学大学院医学研究科教授
	柳田 充弘	京都大学大学院生命科学研究科長・教授
2000	浅島 誠	東京大学大学院総合文化研究科教授
	田中 紘一	京都大学大学院医学研究科教授
1999	宮下 保司	東京大学医学部教授

年度	受賞者	所属・役職
1997	長田 重一	大阪大学医学部教授
	御子柴 克彦	東京大学医科学研究所教授
1996	矢崎 義雄	東京大学医学部長・教授
1995	竹市 雅俊	京都大学大学院理学研究科教授
1994	廣川 信隆	東京大学医学部教授
1993	谷口 維紹	大阪大学細胞生体工学センター教授
	本庶 佑	京都大学医学部教授・遺伝子実験施設長
1992	市原 明	徳島大学酵素科学研究センター長・教授
	多田 啓也	東北大学医学部教授
	永津 俊治	藤田保健衛生大学総合医科学研究所教授
1991	高久 史磨	国立病院医療センター院長
	中西 重忠	京都大学医学部教授
1990	垂井 清一郎	大阪大学医学部教授
1989	大野 雅二	東京大学薬学部教授
1988	大村 智	北里研究所理事・副所長
1987	宇井 理生	東京大学薬学部教授
1986	入澤 宏	岡崎国立共同研究機構生理学研究所教授
1985	杉田 秀夫	国立武藏療養所神経センター疾病研究第一部長
	家森 幸男	島根医科大学教授